

☆地層の観察・岩石の観察をするときの注意

【地層の観察の安全対策】

- ・野外観察では、開放感から、予期せぬ事故が起こりがちである。事前に現地の下見を行い、行き帰りの交通の安全や、現地での安全を確認することが大切である。



- ・ 緊急の時の連絡方法の確認や救急箱の準備を必ずする。
- ・ 地層の露出しているところは、特に危険が多く、上部からの落石や、土砂崩れも考えられる。十分に下見を行い、現地の人からの情報も取り入れ、危険に対処する。
- ・ 地層の上に道がある場合、その路肩は崩れやすいので、路肩からの観察は避けるほうがよい。
- ・ ふざけて石を投げたりしないように注意する。

- ・ 地層の観察は、できれば2、3人の指導体制で実施するのが望ましい。
- ・ 場所によっては、環境を壊さないように保護地域に指定されていて、採集や立ち入りが禁止されていることがあるので、必ず事前に確かめておく。
- ・ 化石が含まれているところでは、化石を必要以上に取らない。

【岩石の観察での安全対策】



- ・ 大きな岩石を扱うのは、児童の興味・関心を高めるが、同時に足の上に落とすなどの事故につながる危険性もあるので、注意を要する。
- ・ ハンマーで岩石を割るときは、かけらが飛び散って、体や目を傷つける恐れがあるので、特に注意する。目を守るために、ゴーグルを着用させる。
- ・ 岩石によっては割れたところが鋭く鋭利になり、思わぬ怪我をすることがあるので注意する。資料として保管されている岩石の点検も忘れないようにする。
- ・ 観察のときに、砂や火山灰や小さな岩石のかけらがついたままの手で目を触ったりすると、目に入ったりすることも考えられるので、

岩石に触った手で目をぬぐったりしないように注意するとともに、観察終了後に手を洗うことも指導する。

- ・ 子どもたちが安全にいろいろな岩石の観察ができるように、岩石園を設置するとよい。

☆地そうや岩石を観察をするときに気をつけよう！

()年()組()番 名前()

1. 地層の観察をするとき

- ・ 活動場所や目的に合った服装をする（下の左の図）。
- ・ 観察場所では、安全に気をつける。切り立ったがけは危険がいっぱいである。上のほうから石が落ちてくることもある。
- ・ がけの上の道では、足場がくずれたり、足をすべらすこともある。はしのほうへは行かない。
- ・ ふざけて石を投げたりしない。
- ・ がけには登らない。
- ・ むやみに穴を掘ったり、石を取ったりしない。



2. 岩石や火山灰を観察するとき

- ・ 細かい火山灰や砂、小さな岩石のかけらなどがついた手で目をさわると、それらが目に入ることがあるので注意する。
- ・ 岩石を観察するとき、足の上に落としたりしないように注意する。
- ・ 岩石の割れている面の角で手を切ることがあるので注意する。